

白紋羽病対策で計画的な改植を推進！

～市川市・船橋市で温水点滴処理機の実演会を開催～

東葛飾農業事務所改良普及課 令和6年8月20日発

管内の梨産地では計画的な改植が進められていますが、白紋羽病による苗木の枯死が問題になっています。そこで、農業事務所では、白紋羽病に対し有効な防除方法である温水点滴処理技術を普及するため、船橋市と市川市で実演会を実施しました。

船橋市では6月26日に、市川市では7月17日に実施したところ、合計15名が参加しました。JA いちかわが所有する貸出用の温水点滴処理機を使い、農業事務所から、技術の特徴や機材の使用方法について説明しました。参加した生産者からは「自分の所でも白紋羽病に罹っている樹があるので1度試してみたい。」等、前向きな感想があがりました。

今後も農業事務所では、白紋羽病対策技術の情報提供など梨産地を維持・発展させるための支援を引き続き行っていきます。



船橋市での実演会の様子



市川市での実演会の様子